

MIYOSHI CITY

第2次 三次市総合計画

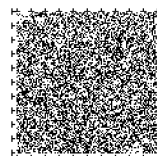
(改訂版)

ダイジェスト版

しあわせを実感しながら、住み続けたいまち



中山間地の未来を拓く拠点都市・三次



これは音声コードです。
目の不自由な方などへの情報提供を目的としています。

総合計画とは

第2次三次市総合計画（計画期間：平成26（2014）年度～令和5（2023）年度）は、三次市まち・ゆめ基本条例に定めるまちづくりの基本理念である「市民のしあわせの実現」を具現化するためのまちづくりの総合的な指針です。

計画策定の趣旨

本市は平成18（2006）年に「三次市総合計画ーみよし百年物語ー」を策定し、計画に基づいて、市民との協働のまちづくりを推進してきました。

しかしながら、日本全体と同様に本市においても人口減少・少子高齢化は進行しており、この現実には真正面から向き合い、本市の持つ無限の可能性を信じ、市民一人ひとりの力に自信と誇りを持って、知恵を出し合い、力を合わせて、新たな取組に挑戦していかなければなりません。

そのための未来を拓く指針として、この総合計画を策定しました。

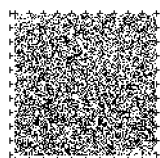
見直しの趣旨

この総合計画を策定して以降、市民のしあわせを実現していくという強い決意のもと、4つの挑戦を中心に、各分野の施策に沿ったまちづくりを進めてきました。

一方で、総合計画の策定から5年が経過し、社会経済状況が変化していることから、新たなまちづくりの課題に適切に対応する必要があり、各施策の進捗状況などを検証し、新たな施策の方向性を定めるため、総合計画の見直しを行うこととしました。

計画期間

計画期間は、平成26（2014）年度から令和5（2023）年度までです。（平成30（2018）年12月一部改訂）



まちづくりの基本的方向の概念

まちづくりの基本理念

「市民のしあわせの実現」

めざすまちの姿

しあわせを実感しながら,住み続けたいまち
～ 中山間地の未来を拓く拠点都市・三次～

4つの挑戦

人口減少・少子高齢社会への挑戦

女性の就労と子育ての両立

協働による地域づくり

拠点性を活かした未来の開拓

まちづくりの
基本的視点

誇り

共生

拠点性

大切に
したいこと

参加

行動

対話

まちづくりの取組の柱

ひとづくり

くらしづくり

仕事づくり

環境づくり

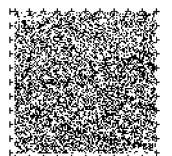
しくみづくり

見直し重点項目

—未来を拓く—
子どもの未来応援

—変化を起こす—
“ツナガリ人口”の拡大

—生活を守る—
災害に強いまちづくり



4つの挑戦

人口減少・少子高齢社会に挑戦し、本市の未来を切り拓くため、集積した機能を市民全体の財産として活用しつつ、次のソフト施策に挑戦します。

①人口減少・少子高齢社会に挑戦します

●人口減少・少子高齢化が進む地域を守ります

人口減少・少子高齢化の進行がより顕著な地域を守るための取組を進めるとともに、地域を発展させる新たな可能性の開拓に努めます。

●地域の特性・個性を活かした地域づくりを進めます

住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域の状況に応じた取組を進めます。

②女性が働きながら子育てできる環境 日本一をめざします

●仕事と家庭が両立できるまちづくりを進めます

活力あるまちづくりには、女性の力が欠かせません。女性の多様な選択、チャレンジを支援し、女性が元気なまちを創ります。

●女性を輝かせる企業・事業者等を応援します

企業・事業者の仕事と家庭の両立支援の取組や女性の活躍促進を後押しします。

③市民の力を引き出し、地域づくりにともに取り組みます

●美しい風景・魅力的なまちを後代に引き継ぎます

未来の三次市民により良い三次市を引き継ぐために、歴史・伝統・文化、生活環境、産業など地域の魅力と価値の増進をめざします。

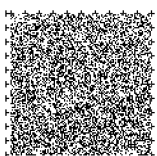
●市職員による地域応援隊を設置し、地域を全力でバックアップします

市民と行政の垣根を低くして、市民の熱意と活力が、地域の発展に直接につながるまちづくりに努めます。

④拠点性を活かして三次の未来を拓きます

●三次市の拠点性を高める取組を進めます

中国縦貫自動車道と中国やまなみ街道が描く交差点は、中国地方の結節点でもあります。医療や物流など、広島県の北部にとどまらず、新たな可能性の創出をめざします。



見直し重点項目

意見交換会や審議会の議論などから課題を整理し、残りの計画期間の5年間で、特に取り組むこととして、3つの見直し重点項目を設定しました。

① 未来を拓く「子どもの未来応援」

子どもたちの未来は地域の未来です。乳幼児期から多様な可能性を伸ばせる環境づくりと、様々な要因によって社会からの支援を必要とする子どもたちが希望を持って育っていける支えが不可欠です。

子どもたちが自ら考え一歩を踏み出していくことを、みんなで応援する地域でありたいという願いを込めた「三次市子どもの未来応援宣言」に基づき、市民・地域・学校・行政がともに力を合わせて、本市で生まれ育つすべての子どもたちの可能性を伸ばし、希望を支え、チャレンジを応援する取組を進めます。



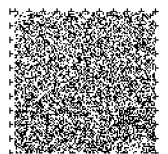
② 変化を起こす「“ツナガリ人口”の拡大」

定住人口や観光などで訪れる交流人口をはじめ、ふるさとサポーターや三次市出身者、二地域居住者など市外の方が市内の人々と多様な関わりを持つ「外」と「内」でつながる関係人口や、市内において世代や組織を越えたつながり、同じ世代や地域・組織内でのつながりなどの「内」と「内」でつながる市民、このような“ツナガリ人口”を拡大していくことで、地域に対する様々な思いを地域づくりに活かし、地域に新たな変化を起こしていきます。



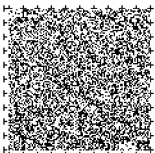
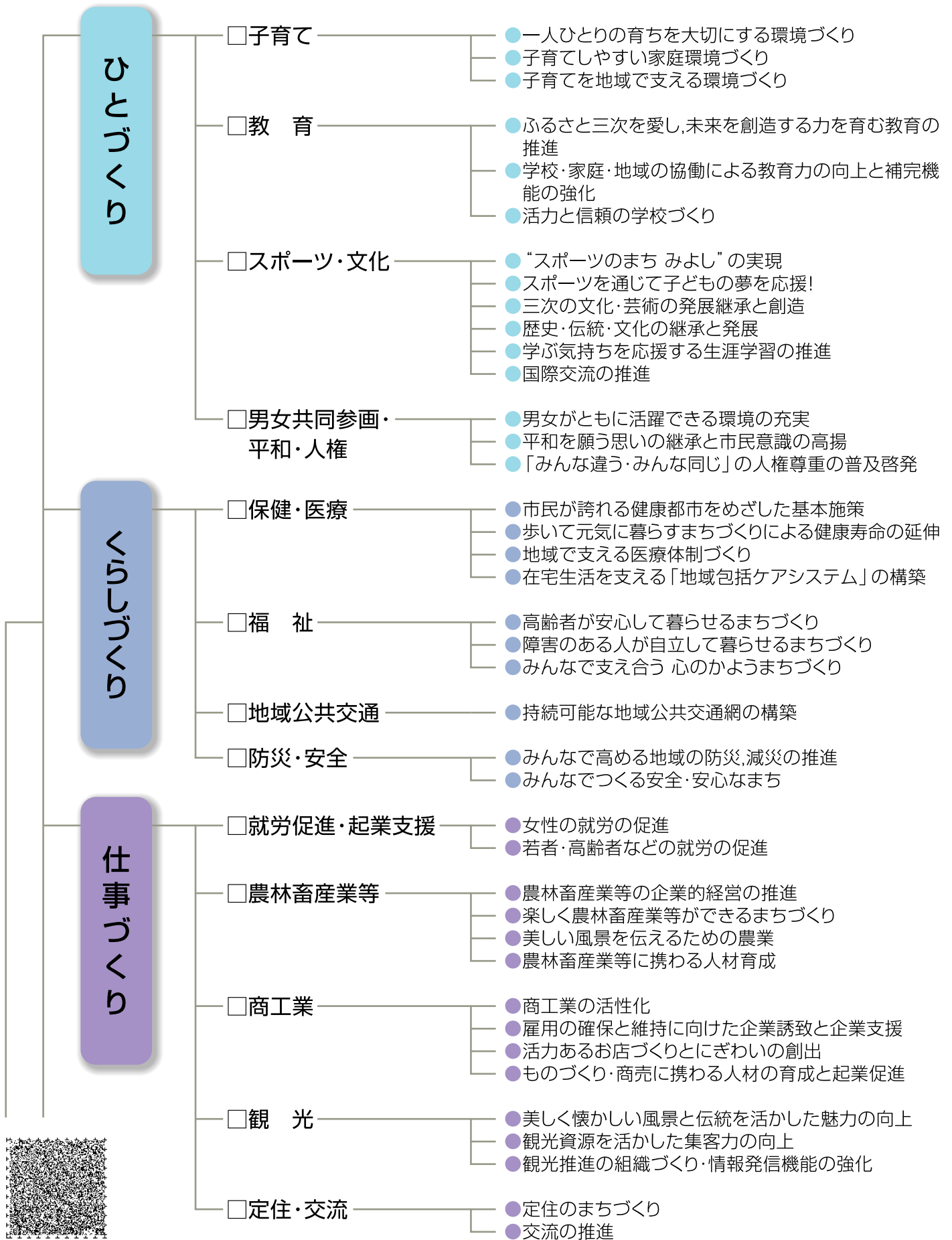
③ 生活を守る「災害に強いまちづくり」

市民が安全で安心して暮らせるよう、まちづくりを進めるにあたっては、災害対応などの機能も考慮し、多面的な観点から整備を行います。また、「自助」「共助」「公助」それぞれの防災対策を充実させるため、今まで以上にハード・ソフトの両面から施策を充実・強化し、市民・地域・団体・企業・行政などの協働による災害に強いまちづくりを進め、市民の生活を守っていきます。



まちづくりの取組の柱

【まちづくりの取組の体系】

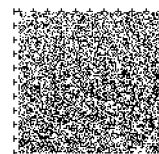
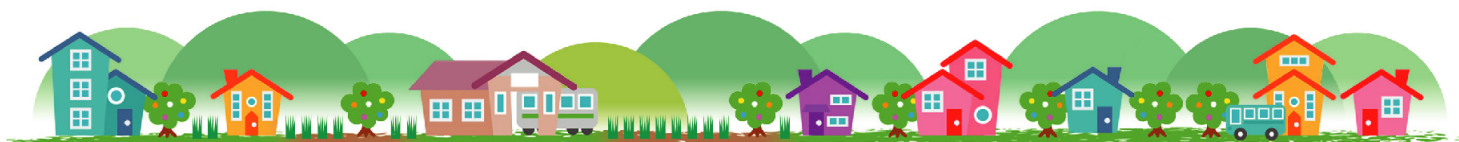


環境づくり

- 自然環境
 - 自然とともに生きるまちづくり
- 循環型社会
 - 資源循環の推進
 - 温室効果ガスの排出抑制と低炭素社会実現に向けた取組
 - 再生可能(自然)エネルギーの活用と省エネルギー化の推進
- 生活基盤
 - 安全で快適に暮らせる生活環境づくり
 - 都市の中核・拠点性の強化
 - 地域生活拠点の機能確保
 - 広域交通体系の充実
 - ICTの積極的な利活用
- 景観形成
 - 美しい景観づくり

つながり

- つながるしくみ
 - 一人ひとりの「参加」「行動」「対話」
 - 住民自治の推進
 - 企業や市民団体,目的型コミュニティなどの支援・育成と連携の推進
 - 対話と共感を大切に市民と協働するまちづくり
- 行財政改革
 - 社会の変化を的確につかんだ政策の選択と重点化
 - 効率的で安定した行財政基盤づくり
 - 市民の期待にこたえる市役所づくり
- 計画的な行政運営と広域連携



総合計画ダイジェスト版Q&A

Q. 総合計画って何？



A. 市民の皆さんと市役所が一緒になって、三次市を「しあわせを実感しながら、住み続けたいまち」にするために、10年間でどんなことを進めていくかが書いてある計画です。長い間の計画なので、途中の5年目に見直しました。

Q. 4つの挑戦って何？



A. これまで、道路、情報ネットワーク、美術館、市民ホールなど、市民の皆さんが使うものを整えてきました。さらにこれからの三次市の未来のために、「人口減少・少子高齢社会」への挑戦をはじめ、4つのことに挑戦し、「しあわせを実感しながら、住み続けたいまち」をつくっていきます。

Q. 見直し重点項目って何？



A. 5年目の見直しのときに、残りの5年間で特に力を入れて進めることを考えて、「子どもの未来応援」「ツナガリ人口」の拡大「災害に強いまちづくり」の3つとしました。



平成30(2018)年12月
企画・発行／広島県三次市

〒728-8501 広島県三次市十日市中二丁目8番1号
TEL.0824-62-6111 FAX.0824-62-6137
<https://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>
E-mail kikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp

